

すみよし

第 7 0 号

発行所 社会福祉法人 一 寿 会
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6
 電 話 022-379-8030
 発行者 理 事 長 金 野 孝 彦

■住吉台こども園
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-0164
 ■仙萩苑 (障害者支援施設)
 仙台市泉区住吉台西二丁目7番地6 TEL(022)379-8030
 ■一寿園 (就労継続支援B型事業)
 仙台市太白区富田字南ノ西26番地 TEL(022)243-3447
 ■長命ヶ丘つくしこども園
 仙台市泉区長命ヶ丘三丁目20番10 TEL(022)772-0035
 ■名取みたぞのこども園
 名取市美田園五丁目3番地5 TEL(022)784-1020
 ■名取あけぼのこども園
 名取市増田六丁目1番40号 TEL(022)382-2711

印刷 令和7年7月9日

発行 令和7年7月11日



■ 住吉台こども園 (p2~3) ■ 一寿会 決算報告書 (p9)

■ 住吉台こども園 (p2~p3)

- ・生活発表会
- ・卒園式
- ・畑作り



■ 長命ヶ丘つくしこども園 (p3~p4)

- ・そりすべり
- ・お別れ遠足
- ・サッカー教室



■ 名取みたぞのこども園 (p5~p6)

- ・学びタイム
- ・体操教室
- ・そら豆の皮むき体験



■ 名取あけぼのこども園 (p6~p7)

- ・お店屋さんごっこ
- ・ひな祭り誕生会
- ・入園式・進級式



■ 仙萩苑 (p8)

- ・お花見
- ・新人紹介



■ 一寿園 (p10)

- ・受託販売部門&食堂入れ替え
- ・避難訓練



住吉台つども園

生活発表会



十二月十四日に生活発表会が行われました。毎日練習を積み重ね、緊張と楽しみな気持ちの中、本番を迎えました。今年度も三歳未満児クラス三歳以上児クラスの二部制での発表となりました。初めは三歳未満児の部からスタートしました。0歳児は「おすしの学校」の表現遊び、一歳児は「フルーツポンチ」の表現遊び、二歳児は「森のお風呂」の劇ごっこをしました。日頃クラスで楽しんでいるダンスや手遊びを友だちや保育教諭と一緒に可愛らしく披露してくれました。



三歳以上児の部は三歳児の「くれよんのくろくん」の劇、四歳児の「おおきなかぶ」の劇、五歳児の「ヘンゼルとグレーテル」の劇を行いました。台詞や歌を覚えて、ドキドキしながらも一人一人役になりきって、友だちと一緒に頑張る姿が見られていました。そして最後を飾ったのは、五歳児の合奏です。楽しみながらも友だちと一緒に一生懸命取り組む子どもたちの姿に、大きな拍手が送られていました。これで「お家の人にかっこいい所を見せるんだ!」と一生懸命練習に取り組んできた子どもたち。その成果を十分に発揮することができ、大きな自信に繋がった生活発表会となりました。

(保育教諭 鈴木 美紗)

卒園式



三月二十二日に卒園式が行われました。ステージ上には卒園製作のお手紙ボードが飾られました。自分の顔を描いたり折り紙で花の切り絵を作ったボードはとても華やかで子どもたちの表情と同じくキラキラと輝いていました。本番までお別れの長い言葉を友だちと一緒に練習し、園生活での行事を思い出して「懐かしいね」と振り返っていました。子どもたちの一番の思い出は家族と初めて離れて過ごしたお泊り保育でした。寂しい気持ちがありながらも初めての経験をすることができ、翌日の朝にはまた一つ成長した子どもたちの笑顔があふれていました。子どもたち自身も卒園の言葉で思い出しながら「またやりたい」と話していました。卒園式は保護者の方に自分のお子さんの卒園する姿を近くで見たいという思いから対面式にしました。本番はお家の方が目の前で見てくれたことで成長した姿を見てもらおうと心を込めて大きな声で歌ったり、お別れの言葉を言うことができ、保護者の方からも友だちと協力して歌を歌う姿や最後までやり遂げる姿、立派に成長した姿に感動したと言ってもらい、嬉



しく思いました。卒園の歌は子どもたちと一緒に選んだ「6さいのうた」「もうすぐりっぱな一年生」「ずーっとずーっと」「だいたいのしるし」を歌いました。「ずーっとずーっと」は子どもたちが大好きな歌で自由遊び中も自然と口ずさんでいました。歌詞にもあるように思い出を忘れずに大きくなってまた皆で会えたら良いなと思います。卒園児のみんな卒園おめでとう。

(保育教諭 小畑 有美)

畑 作 り



五月八日に各クラスで畑作りが行われました。きりん組はきゅうり、なす、トマト、じゃがいも、しそ、ぞう組はオクラ、ミニトマト、オシロイバナ、くま組はカイワレ大根、ピーマン、パプリカ、バジルに挑戦します。始めは子どもたちと一緒に苗の観察をして、形をじっくり見たり、匂いを嗅いだりしてみました。「葉っぱがギザギザしているね」「こっちの葉っぱは丸いね」「ミニトマトはどこからなるのかな」「トマトの匂いがある!」「ナスの匂いはしないね」など様々な発見があり、興味津々で楽しんで畑作りに参加して

いた子どもたちです。種を植える際には、落とさないよう慎重に種を土の上に乗せ、優しく土を掛けてくれました。最後には水やりも行いました。「美味しくなるといいね」と友だちと言いながら、水やりをしてくれた子どもたちです。これから野菜の成長をみんなで見守りながら、野菜の成長過程を学び、共に食べ物の大切さも一緒に学んでいけたらと思います。畑作りをしてから毎日水をあげてくれたり、芽が出ていたり葉が大きくなっていることに喜んでいたり子どもたちです。立派な野菜が育ち、みんなで食べられる日がとても待ち遠しいです。

(保育教諭 今野 咲季)



長命ヶ丘つくしこども園

そりすべり



二月十二日、年長クラスのらいおん組二十名は大型バスに揺られ、スプリングバレースキー場に行き、そり滑りをしてきました。スキー場に到着すると、沢山の雪に大興奮の子どもたちでした。そりを滑る場所は、緩やかな斜面と少し急な斜面の二か所ので、一緒に行った住吉台こども園の年長兄と交替しながら楽しみました。滑り始めは、少し緊張が見られた子どもたちでしたが、何度も滑るうちに笑顔が見られるようになりました。滑り出しは保育教諭が後ろからそりを押してあげることで、斜面を滑っていくのですが、まっすぐ滑っていく子と、同じ所で曲がってしまい、コースアウトしてしまう子もいましたがそんなことには負けず、何度も何度も繰り返し楽しむ姿がありました。そり滑りの後は、スキー場にあった大きないかまぐらの中に入り、氷の椅子に座ったり雪山に上ってみたいと、思う存分冬の大自然に触れたくましく遊んでいました。沢山滑って遊んだ子どもたちからは「お腹すい

た!」という声がちらほら。昼食はスプリングバレーの食堂でカレーライスと温かい豚汁を食べました。「いただきます」の挨拶をするたびにスプーンを持ち、モリモリパクパク食べていました。園では体験できない沢山の雪の上を滑るそり遊びは、子どもたちにとってとても良い経験となりました。

(保育教諭 加藤 さゆり)



お別れ遠足



三月七日、らいおん組のお別れ遠足がありました。行き先は、白石市にある「こじゅうろうキッズランド」です。春の親子遠足でも行ったことがあったのですが、今度はお友だちと先生だけで行けるということで、とても楽しみにしていました。住吉台こども園のきりん組と一緒にバスに乗り出発。バスの中では、クイズをしたりそれぞれの園で卒園式に歌う曲を歌いながら和やかな雰囲気でも過ごしていききました。建物が見えてくると「わー、着いた」と歓声が聞かれる程でした。到着後は、遊び方の説明を受け集合写真を撮影し、いよいよ遊びの時間！大好きな友だちと一緒に大型遊具やボールプールで汗をかくほど体を沢山動かし遊びま



した。ままごとやミニサーキット、絵本も沢山あり、時間が足りないくらいでした。遊んだ後は、待ちに待ったお弁当タイムです。保護者の方が作ってくださった彩りきれいなお弁当を見た子どもたちは「大好きなものがたくさん入っている！」「デザートはいちごだよ」「全部食べたよ、おいしかった」などと会話が弾み、笑顔いっぱいお腹いっぱい時間となりました。午後は「あきらちゃん」のミニコンサートがあり、見るだけでなく一緒に歌ったり体も沢山動かしたりして満喫しました。帰りのバスの中では「まだ帰りたいね」「またみんなで来たいね」という声も聞かれるほど、友だちや先生との楽しい思い出が沢山できた行事となりました。

(保育教諭 高橋 睦子)



サッカー教室



四月十五日に今年度初めての年長児クラスのサッカー教室がありました。今回は雨天で園庭が使用できなかった為、ホールでの活動となりました。準備運動をした後は、一人一つボールを持ち、ドリブルをしながらカラーコーンの周りを散歩したり、ボールを上に向けてキャッチするなど様々なボール遊びを楽しみました。友だちの前で手本を見せてくれた時や最後まで諦めずに頑張ることができた時にはコーチからグリーンカードのプレゼントがあ

り、そのカードが出るたびに「やったー」と喜び、意欲や自信に繋がっているようでした。最後に四チームに分かれてゲームを行いました。自ら率先してゴールキーパーをやったり、相手チームからボールを奪おうと必死で追いかけてゴールを目指したりと沢山体を動かして参加する姿が見られました。勝敗にこだわりのみを見せ、負けてしまふと悔し涙を見せる子もいましたが、次のゲームが始まる時には自分で気持ちを切り替えて参加することができていました。次は園庭で沢山体を動かしてサッカーを楽しみたいと思います。

(保育教諭 及川 絵里香)



名取みたぞのこども園

学びタイム



四月十五日に五歳児クラスにて学びタイムが行われました。四歳児の時に二回ほど学びタイムを行っていた経験がある事から「学びタイム楽しみ」「早くやりたいな」等とこれから始まる活動に期待する姿が見られていました。講師の先生に「おはようございます」と元気よく挨拶をして、いよいよ学びタイムがスタート。最初に座学を行いました。「さ行」の付く単語を全員で探しました。「分かったお友だちは、手を挙げてね」と講師の先生からお話があると、積極的に手を挙げ、質問に答える姿がありました。その後は、ペーパーワークを行い、数字の八から十の書き方を練習しました。鉛筆の持ち方を教えてもらい、真剣な顔で取り組むらいおん組の子どもたち。「書けない」「間違っちゃった」と涙する姿もありましたが、保育教諭や講師の先生が手を添える事で、書く事が出来ました。「頑張ったね」と花丸を貰うと、とても嬉しそうにしていた子どもたちでした。これからも、学びタイムでの取り組みを通して、文

字や数への興味関心を深めながら、文字や数を使った遊びや表現をより楽しめるよう、保育でも取り入れていきたいと思っています。

(保育教諭 星 琳佳)



体操教室



四月十八日、四歳児クラスで体操教室を行いました。楽しみにしていた子どもたちは、元気な声で講師の名前を呼んだり、挨拶をしたりしながら参加しました。鉄棒では「足抜き回り」や「豚の丸焼き」に挑戦しました。難しそうにする姿もありましたが、友だちの頑張る姿を見て意欲を持ったり、繰り返し挑戦することで腕や足の使い方のコツをつかんだりし「できた」と笑顔で達成感を味わっていました。ゲームでは、仰向けに寝ている講師の周りを歩き、講師の両手足が上がったのを合図

に追いかけられ、捕まらないように逃げるという遊びを楽しみました。「逃げろ」と歓声をあげたり友だちと笑い合ったりしながらホールを駆け回り、楽しげな子どもたちの声が響いていました。活動を終えた後は内容を振り返りながら子どもたちの楽しかった気持ちに共感し、次回の期待に繋がっています。体操教室では、体の動かし方を知るだけではなく、挑戦する気持ちや友だちと一緒に取り組む楽しさを感じられる場でもある為、今後の体操教室もぞう組のみんなでも楽しく参加していきたいと思っています。

(保育教諭 菊地 紗羅)



「そら豆」の皮むき体験

五月十四日に、三歳児クラス・きりん組で食育活動「そら豆の皮むき」をしました。始めに絵本の「そらまめくんのベッド」を読み、絵本に登場した豆に実際に触れたり、匂いを嗅いでみたりする中で、活動への期待を膨らませていた子どもたち。早速、そら豆を一人一人手に取ると「大きいね」「固いね」「お外の匂いがする」と感じたことを子ども同士話す姿が見られました。



た。皮むきでは、さやの固さに少し苦戦しながらもコツを掴んで二つに割り、中の豆が見えてくると「豆が大きいね」「中がふかふかだ」と沢山の気付きや発見を伝え合い、喜んでいました。みんなで協力して皮むきしたそら豆は、おやつにそら豆ご飯としていただきました。自分たちがお手伝いしてきたご飯は特別だったようで「美味しいね」と、いつも以上に喜んで味わう姿がありました。今後も食育活動を通して、食材をより身近に感じながら、食事への意欲や食べることの楽しさに繋がれるようにしていきたいと思えます。

(保育教諭 佐藤 可奈)

名取あけぼのこども園

お店屋さんごっこ



二月九日にお店屋さんごっこがありました。三歳児はラーメン屋さん、四歳児はドーナツ屋さん、五歳児はアクセサリー屋さんを出店しました。各クラス、一つ一つの商品を友だちと協力しながら丁寧に作り、店員役とお客さん役の練習もすることで意欲や期待を高めながら当日に向けて準備を進めていました。いよいよ開店のアナウンスが流れると元気な声で「いらっしゃいませ」とお客さんに呼び掛ける姿がありました。三歳未満児クラスのお友だち



ちが買い物に来ると優しく購入の仕方を教えてあげたり、一緒に商品を選んであげたりしていました。三歳未満児クラスは手作りで作った財布を持ち、商品を買う際は三歳以上児のお兄さんやお姉さんに手伝ってもらいながら、お買い物ごっこを楽しむことが出来ました。三歳以上児クラスが買い物の時は異年齢のグループで前半、後半チームに分かれ、それぞれお客さん役と店員さん役を交代しながら楽しむ事が出来ました。今後も様々な活動を通して異年齢児交流の機会を作り、興味や関心の幅を広げ良い刺激となるように働き掛けていきたいと思えます。今年のお店屋さんごっこは喜びや達成感を味わう事が出来た素敵な一日となりました。

(保育教諭 富澤 真知)

ひな祭り誕生会



三月三日にホールでひな祭り誕生会が行われました。三月生まれのお友だちも、一つお兄さんお姉さんに成長し、しっかりとインタビューに答えられていてとても素敵でした。お祝いしてくれるお友だちも「おめでとう」の気持ちを含めて、歌やカードを笑顔と一緒にプレゼントしてくれました。誕生会の中で、各クラスからひな祭りの制作を発表してもらいました。お雛様とお内裏様を作ったクラスでは折り紙を貼って洋服にしたり、自分でお顔を描いたりしていました。また、伝統食のちらし寿司を作ったクラスもいてとても素敵な作品をみせてくれました。その後のお楽しみでは、ひな祭りクイズをしました。ひな祭りは結婚式を表していることやひしもちの色には意味があることなど、知らないことも沢山で興味津々に見る姿がありました。クイズに正解すると「やった!」「当たった!」と友だちと一緒に喜び合い、外れてしまうと「次は絶対当てようね!」と楽しみながらクイズを通してひな祭りのことを知るきっかけとなりました。今後子どもたちが参加したい、楽しみななどと思える誕生会にしていきたい

たいと思います。

(保育教諭

佐々木 とわの)



入園式・進級式



四月三日に名取あけぼのこども園で入園式が行われました。今年度は、0歳児六名、一歳児九名、二歳児一名、三歳児七名の新しいお友だちが入園しました。小さいクラスの子は保護者の方の抱っこや膝の上に座り、大きいクラスの子は、保護者の隣の椅子に座って参加しました。緊張や不安な表情もありましたが、担任の先生に名前を呼ばれると可愛い顔をみせてくれました。後半には職員によるアンパンマンのペープサートのお楽しみを見ました。次々と出てくるアンパンマンの



キャラクターに興味津々で見入る姿がありました。進級式では、一つ大きいクラスになったことを喜び、目を輝かせて参加する姿がありました。担任の先生から一人一人名前を呼ばれ、緊張しながらもしっかり返事をする姿に成長を感じました。式から一カ月が経ち、四月は新しい環境への不安から泣いていたお友だちも、今では笑顔で元気に登園し、お友だちとの関わりも見られるようになりました。これからも、友だちや保育教諭と沢山関わりながら、沢山の楽しい思い出を作っていきたいと思っています。(保育教諭 加藤 郁)

仙萩苑

お花見



四月二十日、穏やかな気候に心むす季節となり、桜の香りがふんわり漂い、耳を澄ますと多種多様な鳥の囀りが響き、桜の蜜だまりを齧り啜えて飛びたつスズメ等、中庭の桜の木は、いろいろな表情をみせてくれます。入居者の皆様には、束の間ではありましたが、春の訪れを感じていただけたのではないでしょうか。唐詩で詠まれた「年年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」の言葉を想い出します。皆様との思い出が沢山できるよう共に過ごす時間を大切にしていきたいと思えます。

(生活支援員 吉本 美雪)



新人紹介



生活支援員

豊間根 亜衣

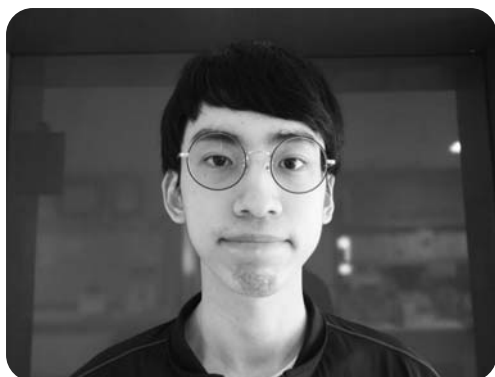
四月から仙萩苑で働かせていただくことになりました。自分自身未熟な部分があり皆様にご迷惑をかけると思います。ですが、入居者の方々の支えになれるよう精一杯努力していきたいと思っています。一日でも早く戦力となり、皆さんと仲良くできたいと思います。これからよろしくお願いします。



生活支援員

笹木 泰河

生活支援員として働くことになりました。今年で二十四歳になる笹木泰河と申します。出身は仙台で、好物はカレーとハンバーグです。趣味は休日に銭湯に行くこと、家でゲームをすることです。介護職は初めてなのですが、利用者様の役に立てよう頑張っており、色々覚えていきますので、これからよろしくお願いします。



決 算 報 告

令和 6 年度一寿会決算を下記の通り報告致します。

令 和 6 年 度 財 産 目 録

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
項 目	金 額	摘 要	項 目	金 額	摘 要
流 動 資 産	383,610,905		流 動 負 債	73,590,364	
基 本 財 産	687,000,255		固 定 負 債	114,963,465	
その他の固定資産	751,648,761				
資産の部合計-①	1,822,259,921		負債の部合計-②	188,553,829	
差引正味財産 (①－②)			1,633,706,092		

令 和 6 年 度 貸 借 対 照 表

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
項 目	金 額	摘 要	項 目	金 額	摘 要
流 動 資 産	383,610,905	預金・未収金他	流 動 負 債	73,590,364	未払金・預り金他
固 定 資 産	1,438,649,016	建物・土地・権利他	固 定 負 債	114,963,465	設備資金借入金他
			負債の部合計	188,553,829	
			純 財 産 の 部		
			基 本 金	121,529,321	
			国庫補助金等特別積立金	460,628,788	
			その他の積立金	532,000,000	
			次期繰越活動収支差額	519,547,983	
			純財産の部合計	1,633,706,092	
資産の部合計	1,822,259,921		負債・純財産合計	1,822,259,921	

令 和 6 年 度 収 支 計 算 書

(単位：円)

支 出 の 部			収 入 の 部		
項 目	金 額	摘 要	項 目	金 額	摘 要
就労支援事業支出	5,075,281		就労支援事業収入	2,659,336	
人 件 費 支 出	707,662,770	給与・社会保険料他	保 育 事 業 収 入	708,940,294	
事 業 費 支 出	148,308,205	給食費・消耗品費他	障害福祉サービス等事業収入	275,961,051	
事 務 費 支 出	149,991,106	業務委託費・修繕費他	医 療 事 業 収 入	88,768,370	
借入金利息支出	646,976	設備資金借入分	経常経費寄付金収入	1,000,000	
元 利 償 還 金	10,632,500	設備資金借入金償還	そ の 他 の 収 入	555,791	雑収入等
固定資産取得費	13,079,500	車輛他	積立資産取崩収入	47,755,633	退職共済預け金返還金
ファイナンシャルリース 債務の返済支出	3,422,020		その他の活動収入	245,847	
積立資産支出	49,831,282	各種積立金			
支出の部小計	1,088,649,640				
当 期 繰 越 金	37,647,490				
支出の部合計	1,126,297,130		収入の部合計	1,126,297,130	

一寿園

受託販売部門 & 食堂入れ替え

最近是新規利用者も入り、受託販売部門の作業部屋が手狭になってきました。受託販売部門は箱や味噌汁などの資材が多い為、スペースを多く使用します。そして夏場は西日が差し込む為とても暑くなるというのが難点でした。今年も猛暑が予想されるので、取り敢えずお試しで部屋を移動しようということになりました。入れ替える部屋の候補としては一番広いスペースである食堂が挙がりました。食堂は南向



食堂



受託・販売部門

きで囲まれた部屋ではありませんが、開放感があります。小上がりもあり、普段も資材や完成品を置いていたので導線も良いです。イメージを共有し、五月二十二日、引越しをしました。それぞれの部屋の机や椅子を交換し、棚も移動しました。部門の利用者さんは男手があるので、その日の内に全て運び終え、入れ替えが完了しました。こちらの部屋も使い勝手が良くなりました。食堂となった部屋は、物がなくなり音が反響する程です。利用者さんも前より快適になったと喜んでいます。エアコンも使用時だけ点けるので節電も期待されます。今後も様子を伺い、検討していきたいと思っています。

(職業指導員 渡辺 寿子)
わたなべ としこ



避難訓練



6月12日に避難訓練が行われました。今年度入った利用者2名は初めての訓練となりました。利用者に非常ベルを押す体験をしてもらい、ベルが鳴り響く中、一斉に外へ移動します。2階の利用者は毎回大変だと思いますが、これも大事な訓練。自力で歩ける方は先に移動。車椅子の方は手摺を握り、一步一步階段を降りていきます。この時ばかりは手を離さないよう必死です。無事外へ避難を終え、次は消火器訓練です。初めての方も説明を聞き、火の着的を目掛けて放水。見事、消火成功！普段は中での作業ばかりなので、屋外での体験は新鮮味があったようです。最後、消火器を体験した方は、水が無くなるまで暫し消火してもらいました（笑）施設長から「もし誰もいない中、一寿園に取り残されても…大丈夫です！暗室（倉庫）に食料があるので3日間は安心して過ごせますから」とのことでした。

(職業指導員 渡辺 寿子)
わたなべ としこ



編集後記

夏の終わりに近づくとうちで地面にひっくり返ったセミを見かけます。いきなり飛び上がって突進してきたりして。「えー、生きてたの！」なんてこと経験ありませんか？巷では「セミ爆弾」なんて呼ばれているそうです。このセミ生きてるの？死んでるの？実は見分け方があるそうですよ→→→

セミ爆弾の見分け方

